

途上国の貧困、どうして起こる？

31

所 属	愛知県岡崎東高等学校	実践者	亀山 広実
対 象	高校3年生（40名）	実践日	2023年9月～10月
実践教科	コミュニケーション英語Ⅱ	時間数	2時間+α（50×2+20）
ねらい	・途上国の貧困はどのようなものかを知り、その原因を考える。 ・他国と我々の生活とのつながりに気づく。 ・貧困の連鎖を断ち切るために、各々ができることを考える。		
実践内容	回	プログラム	備 考
	20分 (時間外)	◆Introduction ・『世界がもし100人の村だったら』の動画を見て、気づいたことや感想をペアで共有する(in English)。 ・教科書”Floating Education”(バングラデッシュの貧困について)の内容を把握する。	動画 教科書(数研出版 Big Dipper)
	20分	◆貧困ってどういうもの？ ・「世界で最も貧しい生活ってどんな生活」とはどんなものか、グループで意見を出し合う(in English)【ブレインストーミング】 ・他のグループの成果物を見て回る。【ギャラリー方式】 ・教員が貧困の定義を説明する。	模造紙、ペン
	20分	◆どうして貧困に陥るの？① ・『貧困の輪のカード』を用いて、貧困の因果関係を考える。	模造紙、ペン、 貧困の輪のカード
	25分	◆どうして貧困に陥るの？② ・貧困の輪の各カードの原因をグループで考える。【因果関係図】 ・1人1枚担当した資料を読み、貧困の原因となるキーワードを付箋に書き出し、模造紙に貼る。【KJ法】 ◆他国とのつながりを、「一杯のごはん」から考える	模造紙、付箋、ペン 資料:愛知県国際交流協会の国別資料(ブルンジ、タンザニア、エチオピア、パキスタン、ブルキナファソ、ウガンダ、アンゴラ)
	15分	◆貧困の連鎖を断ち切るためにはどうしたらいいの？ ・グループで、個人、NGOs/Organizations、日本政府ができる Action をそれぞれ考える。【対比表】	模造紙、付箋、ペン
	20分	・1人1枚担当した資料を読み、Action Plan として参考になるキーワードを付箋に書き出し、対比表に付け加える。【KJ法】 ◆振り返り	資料(ザンビア、ガーナ、バングラデシュ、タイ、エチオピア、フィリピン、マリ) ワークシート
成 果	普段の生活の中で、他国の貧困を意識することはほとんどない生徒たちが、それについて考え、話し合い、意見を持つことができた。また、日本とのつながりを意識したことで、貧困は他国の出来事という視点を脱して、問題を身近に感じることができ、今度とるべき Action について考えることができた。		
課 題	・Action Plan がやや表面的なものになった。それぞれの国の問題について調べて、どのような支援が可能かを考えるなど、深い学びにつながる工夫が必要と感じた。 ・他国と我々の生活とのつながりについて、時間がとれれば何か気づきのある活動ができると良かった。		
備 考	バングラデッシュの貧困について学んだ後の、Post Reading 活動として実施した。授業を公開し、他の先生方にも見に来ていただいた。		